



2017 高岡万葉セミナー

大伴家持歌 をよむ

I



期日

平成29年 8月26日 土 10:20~16:15

◆会場：高岡市万葉歴史館・講義室

◆受講料：3,000円（学生1,000円）

◆定員：先着120名

※周辺に食堂がありませんので、26日(土)は昼食をご持参いただくか、1週間前までに昼食 弁当(1,000円)をお申し込みください。
※26日(土)のセミナー終了後に、ジャンボタクシーを運行します。(無料)ジャンボタクシーは、セミナー終了後に開催する秋の特別企画展「家持が見た薬草」の展示解説(約30分)の終了後の26日(土)17:00前頃に万葉歴史館を出発します。
【万葉歴史館→伏木駅経由→高岡駅】ジャンボタクシーご利用の方は、セミナーお申し込み時にあわせてお知らせ願います。

◆申し込み方法

「高岡万葉セミナー受講希望」と書き、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・26日(土) 昼食 弁当の申し込みの有・無を記載の上、ハガキ・電話・FAX・E-mailなどで下記にお申し込みください。高岡市万葉歴史館受付でもお申し込みができます。受講料は、当日受付でお支払いください(おつりのないようご注意ください)。
※お申し込みいただいた方は、当日、当館講義室へお越しください。(受講確認のハガキはお送り致しません)
※お申し込みの際の個人情報、セミナー日程等の変更が生じた際の通知にのみ使用します。これ以外の目的に使用する事はありません。

第1講 家持の「^か 傷・^な 悲嘆・^し 悲緒」み

おおほま まさき
大濱 眞幸 (元関西大学教授)

第2講 大伴家持と紀女郎との贈答歌の表現

たいらだて えいこ
平館 英子 (日本女子大学名誉教授)

第3講 大伴家持のもの学び

うちだ まさのり
内田 賢徳 (京都大学名誉教授)



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11
TEL:0766-44-5511 FAX:0766-44-7335
E-mail:manreki@takaoka-bunka.com
URL:http://www.manreki.com

同時開催

秋の特別企画展
「家持が見た薬草」

会期：8月23日(水)～10月16日(月)
万葉植物の「生薬」という実用面にスポットを当て、大伴家持の歌に詠まれた万葉植物を中心に紹介します。

大伴家持歌をよむ I

8月26日(土)
10:20~16:15

10:20~10:30 オリエンテーション・開講式

10:30~12:00 第1講 家持の「悲傷・悲嘆・悲緒」み

大濱 眞幸 (元関西大学教授)

天平十一年(739)、大伴家持は二十二歳で「妾」を喪った。その「悲傷・悲嘆・悲緒」を綴った歌群が、家持初期の代表作「亡妾悲傷歌」(巻三・四六二~七四)である。当該歌群は、早くから人麻呂、旅人、憶良等、先行歌人の挽歌との関連が指摘されきたが、近年ではそこに単なる模倣にとどまらない、後年の家持作歌にも連なる独自の試みが高く評価されている。本講義では、そうした近年の評価の驥尾に付して家持のかなしみを垣間見てみたい。

12:00~13:00 昼食

13:00~14:30 第2講 大伴家持と紀女郎との贈答歌の表現

平舘 英子 (日本女子大学名誉教授)

『萬葉集』巻四と巻八には、大伴宿禰家持が越中に赴任する以前、恭仁京に滞在していた時期に紀女郎と交わした贈答歌が載っています。その贈答歌は表現の中に諧謔的技巧が見られ、遊戯的作品とも言われます。一方でその贈答歌には作中の行為や物を生活感豊かに具体的に描写するという表現方法が見られます。その表現方法について、遊戯的作品と言われるあり方との関係を問うと共に、越中における家持歌との関係を考察します。

14:30~14:45 休憩

14:45~16:15 第3講 大伴家持のもの学び

内田 賢徳 (京都大学名誉教授)

奈良朝も後半にさしかかり、王権の中で和歌のあり方も転換期を迎えていた時期に、家持は歌の技法を高めて行った。それは、やがて越中赴任後に大きな成果を見せることになる。それはどのようにして遂行されて行ったのか、「もの学び」とここに称することは、そこに焦点をもつ。彼が学んだものごとを辿りながら、越中赴任前の歌をとらえていく。

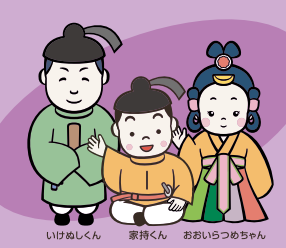


交通のご案内



- 最寄り駅・JR氷見線 伏木駅から
【当館までの距離約1.5km】タクシーで約5分、徒歩約25分
- JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から
【バス】加越能バス伏木方面(西回り)、伏木方面(東回り)のいずれかに乗車(約30分)し、「伏木一の宮」バス停で下車、徒歩約7分
【タクシー】約20分
※「北陸新幹線 新高岡駅」と「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、10分間隔でバス便があります(所要時間約10分)
- お車で
【能越自動車道】高岡北インターから約20分、高岡インターから約25分
【北陸自動車道】小杉インターから約35分、高岡砺波スマートインターから約35分

歴史館の最新情報、
日々の出来事はこちら!



- ツイッター
家持くん @manreki
おおいらつめちゃん @oiratsume
いけぬし君 @ikenushi
万葉人・高岡市万葉歴史館館長 @akahitomusimaro